学びを地域へ。

学生が、まちで活躍しています。

学生たちが授業やボランティアを通じ、教育やまちづくりなど、さまざまな場面で活躍しています。大学で得た知識と若い感性を持ち寄り、データや現場の声から地域の課題解決に挑戦。さらに、学生ならではの発想やアイデアは、実際の行政の取り組みにも生かされています。

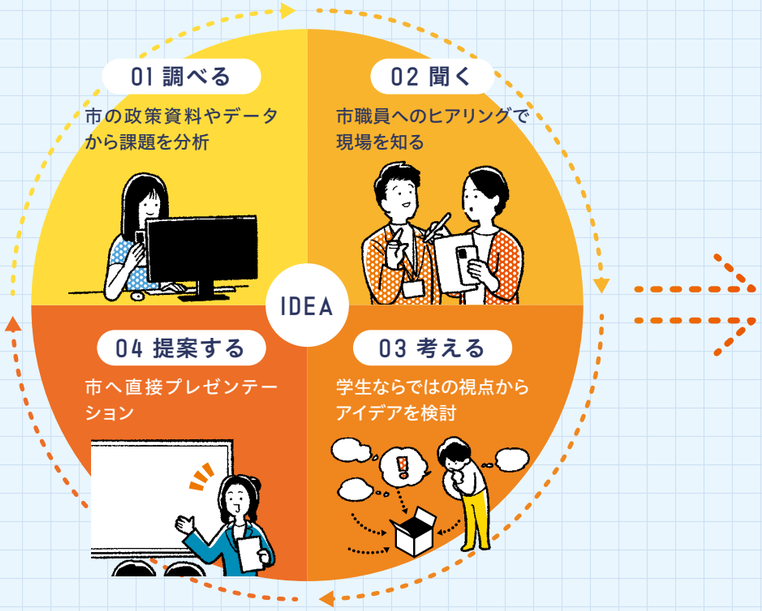
同志社大学 政策学部

同志社大学
政策学部

学生のアイデアが、四條畷の未来を描く

若者の視点から、まちの課題を考える

同志社大学政策学部の学生たちが、本市の雇用や子育てなどをテーマに、これからのまちづくりについて考える官学連携プロジェクトに取り組みました。
学生たちは、本市の政策資料や関連データを読み解き、本市が抱える課題を整理。その上で、市の担当者へのヒアリングを行い、行政の現場から見た課題や取り組みについて理解を深めました。
若者ならではの視点で四條畷の未来につながるアイデアを考え、まとめた提案を市長へ直接プレゼンテーションしました。



学生の提言を市公式SNSに活用！

学生からの「話題性に欠け、他の自治体との差別化ができていない」という提言を受け、市公式Instagramのリール動画をグレードアップ！お堅いイメージを脱ぎ捨て、もっと楽しく、親しみやすい市の魅力発信に挑戦した結果、見事1万回再生を突破！学生の提言から、市のPRに新しい形が生まれました！



くっすんの1日vlog

くっすんが話題のダンスを踊ってみた



学生発！3つのアイデア大公開！



IDEA 01 サンぽ ～サンタを活用した多世代交流と地域活性化～

サンタと歩いて、健康＆地域交流

市内のサンタ像を巡り、健康づくりや危険箇所のパトロール、オリジナル「サンタMAP」の作成などを通じ、子どもから高齢者までが楽しみながら地域交流に参加できる仕組みを提案。さらに、健康アプリ「なわぽ」と連携してクーポンを活用し、地域経済の活性化にもつなげる取り組みを提案。





「健康」×「防犯」×「地域資源」の組み合わせを通じて、地域の活性化・多世代交流を図るための複眼的なアイデアを出せたと感じます。



同志社大学 田中 教授

IDEA 02 四條畷市決済アプリ なわPay

まちで活動するほど、ポイントがたまる

市内での買い物や健康診断、スポーツイベント、ボランティア活動への参加にポイントを付与し、市民の健康意識の向上や地域のつながりづくりをめざします。さらに、行政サービスのオンライン化を支える基盤として活用する仕組みを提案。





田中教授のコメント

デジタルネイティブ世代によるアプリ提案であり、スマートフォンを使って気軽に地域の活性化につながる行動を導く可能性を感じます。

IDEA 03 社会人口増加促進

住みたい・働きたいまちへ

社会人口の増加をテーマに、短期・長期の視点からアイデアを提案。短期的には、SNSを活用して市への関心を高め、長期的には空き家を一人暮らし向けの住まいや事業者のオフィス、コワーキングスペースなどに活用し、新たな人を呼び込むことで、最終的に移住・定住につなげる仕組みを提案。





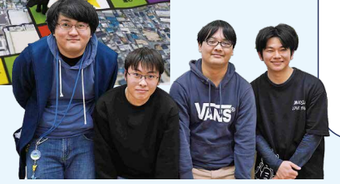
田中教授のコメント

学生らしいSNSを活用した短期的な施策と長期的な施策（移住者の増加）を組み合わせた良いアイデアであると感じます。









ゲームを制作した学生の皆さん

教育 × 大阪電気通信大学

ゲーム制作の学び

»» 四條畷の歴史・文化を、子どもたちの学びへ

放課後子ども教室では、子どもたちが楽しみながら地域の歴史や文化を学べるオリジナルゲームが活用されています。総合情報学部の学生が、約1年かけて制作したもので、市の職員やコーディネーターと意見交換を重ねて完成しました。学生のアイデアが詰まったゲームは市に寄贈され、子どもたちの学びに活用されています。

子どもたちが想像以上に熱中して遊んでくれてうれしい驚きです！もっとたくさんの子どもたちに遊んでもらいたいですね。

総合情報学部
デジタル
ゲーム学科

シティプロモーション × 大阪電気通信大学

動画制作の学び

»» 学生の視点から、四條畷の魅力発信へ

総合情報学部の学生は、本市の魅力や取り組みを紹介するシティプロモーション動画の制作にも取り組んでいます。これまで「龍尾寺アートイベント2024」や「100にんのサンタクロースプロジェクト」などを題材に動画制作に携わってきました。令和8年度では、学生が企画段階から携わり、学生ならではの視点やアイデアを生かした動画づくりに挑戦しています。

龍尾寺アート
イベント2024

100にんの
サンタクロース
プロジェクト

先端
マルチメディア
合同研究所



依頼者の要望に応えることを重視した取り組みですが、学生たちが持つ、誰かのために行動する『社会性』が企画や制作に生かされる姿に、彼らの成長や可能性を感じます。

大阪電気通信大学
寺山 教授









健康 × 四條畷学園大学

看護・リハビリの学び　»» 市民の健康へ

看護学部とリハビリテーション学部の学生が、市主催の「健康寿命延伸のすすめイベント」にボランティアとして参加。看護学部は血圧や酸素飽和度を測定する「出張なわて健康ラボ」、リハビリテーション学部は立ち上がりテストなどを行う「ロコモチェック」を担当。地域の人とふれ合うよい機会となっています。

看護学部

リハビリテーション学部

地域の皆さんが、自身の健康をいかに大切にしているのかを実感することができた一日でした。今後も活動の場を広げていきたいと思います！



四條畷学園大学 田中 教授





学びの場は、まち全体へ広がっています。



まちづくり × 摂南大学

フィールドワーク　»» 田原のまちづくりへ

現代社会学部の学生は、令和5年から、学部のカリキュラムの一つであるFAL（フィールド型アクティブ・ラーニング）の活動として、田原地域のまちづくりに参加しています。地域のイベントや住民との意見交換の場に参加し、地域の人との対話を重ねながら、地域の魅力や課題を学び、まちづくりについて考え、活動しています。



現代社会学部

摂南大学 FAL



いろいろな活動に参加し、多くの人と交流をもつことが、学生たちの「視野を広げる」ことや「さまざまな立場でものごとを考える」姿勢につながっていると感じます。

摂南大学
山本 准教授

